



## カイバテラス

本町一丁目の買場通りで定期開催された「買場紗綾市」。その中心施設で「買場ふれあい館」として活用された長屋が2016年の全焼火災から復活し、3月13日に「カイバテラス」としてオープンを迎えた。

本町通りから西に向かう買場通りは1882年（明治15）に関東東北七県連合生糸織物共進会が開かれ、翌年からは固定市が開催されたことから桐生の商工業発祥の地とされている。共進会の会場として建てられたこの長屋は、紗綾市での有効活用もあり地域住民の交流の場として親しまれてきた。

拠点を失った紗綾市は隣接する東久方町に会場を移す一方で、長屋は修復が進められ2019年の夏に工事が終了。地元住民らが今後の活用方法を検討するなか、本町一丁目で地図制作のデザイン事務所を構える齋藤直己さんを代表とする運営委員会が組織された。「さまざまな地域や年代の人々が関わって、重伝建エリアがより盛り上がっていくような場所にしたい」一、その思いから「ヒト」と「モノ」をつなぐ新しい拠点としての再生が決定した。

広さ約100㎡のカイバテラスは「本と雑貨百一十堂（ドードー堂）」と簡単な飲食物を提供する休憩スペース、1時間単位で利用できるレンタルコミュニティスペースで構成される。百一十堂では生活や仕事に関わる本から絵本などを販売するほか、クラフト作家による雑貨や期間限定のポップアップショップも出店する。休憩スペースではコーヒーなどを提供するほか、月・水・金曜日には市内飲食店によるお弁当を販売、木曜日は「カレーの日」としてカレーの販売を行う。そのほかの空きスペースはレンタルのコミュニティスペースとして1時間500円（1日3,000円）、キッチンスペースは4時間3,000円（1日5,000円）で貸し出す。クラフト作家や飲食店が出店し毎週日曜に開催されてきた「のんびりマルシェ」は今後も継続されていく。（第1週は土曜日）

齋藤さんや店長を務める大谷知子さんをはじめ運営委員は40～50代の若い世代が担い、歴史・観光・まちづくりの中心地で新しい価値をたずさえた核として期待されている。

### カイバテラス サポーター募集中

カイバテラスを安定して長く運営するためのサポーターを募集しています。  
金額は5,000円～100,000円までの6種類で、それぞれにオリジナルグッズやコーヒー無料券などの特典を用意しています。

- 場所／桐生市本町1-5-26 ● 電話／0277-46-6550
- 営業時間／午前11時～午後7時（土・日・祝は午後6時） ● 定休日／火曜日
- HP／<https://www.kaibaterras.com>



全焼火災から復活  
「ヒト」と「モノ」をつなぐ新たな「買場」へ